

## 『幼児保育参観・お泊り保育説明会のアンケートより』

◎いろいろなコーナーのあそびが準備されていましたが、我が子はしたいあそびがあったようで、先生にそのことを伝えて確認していました。子どもたちがどうしたいのか積極的に自分の気持ちを書いて、先生もどうすれば全員の気持ちを尊重できるか考え、一人ひとりに細やかな配慮をして環境を整えておられました。参観という緊張しがちな状況でも伸び伸び過ごしている様子が伺え、体調が悪くても保育園に「行きたい！」と泣く理由が分かったような気がしました。(年長)

◎結婚式ごっこは思ったより本物に近く、それぞれの役割もしっかりこなしていて、大人が驚くような視点で物事を見ていて、ごっこあそびの中からも成長を感じました。自宅で私たちの結婚式の実際の写真を見て、家族で話が膨らみました。車作りは個性あふれるものができていて、竹くしをどうやればさせるのか一生懸命考えていました。考える力がついてますね。(年長)

◎泥んこあそびが楽しすぎて親をそっちのけで夢中になって遊んでいました。(笑)先生が提案したあそびでも、直ぐに自分なりにアレンジしたりしていました。片付けの時間になるとサッと切り換えて片づけ始めた姿に成長を感じました。(年中)

◎水が苦手ですが元気そうに泥んこで遊んでいて安心しました。クラスの子どもの人数が多くて(31名)圧倒されました。園内の活動は大丈夫だと思いますが、園外にあそびに行く時(散歩など)など、途中の道路等の安全が守れるかどうか心配です。(年中)

◎ハサミを上手に使っている姿にびっくりしました。初めは母から離れずスモックも着ない!と言っていました。いざあそびが始まるとすんなりスモックを着てせっせと作っていました。成長です!(年少)

◎絵具のあそびなど家庭ではできないあそびをたくさん経験して楽しんでいるようで、あまり見れない真剣な顔もとても嬉しく感じました。入園前はお友達に対して「ダメ!」とすごかったので、お友達とも一緒に譲り合っている姿を見て安心しました。(年少)

◎お泊り保育説明会では、昨年の動画や写真を見たり、具体的に準備物の説明や事前質問にも答えていただき、具体的なイメージが親も子どもも掴むことができました。説明会の帰り道、「自分で準備やってみる!」と言ってくれました。(年長)

## 令和6年 8月の保育園だより

### 『学びに向かう力』

～乳幼児期の基本的な生活習慣自立の重要性～

梅雨が明けたかというように毎日熱中症警戒アラートが発令されています。保育園内のあそびも園庭でのあそびの時間を短縮など工夫をしていますが、子ども達は歓声をあげながら思い思いのあそびを満喫しているように思えます。

広島県では先月中旬新型コロナ医療ひっ迫警報を発令するなど、保育園でも再びコロナ感染やその他の感染症(手足口病、流行性結膜炎、突発性発疹など)の報告が増えてきています。子ども達の体調管理(たっぷり眠りしっかり栄養を摂る)や衛生管理(手洗いうがいなど)には、園でもご家庭でも気を付け、暑い夏を乗り切りたいものですね。

7/13(土)は猛暑ではありましたが、今年度初めての幼児クラスの保育参観を開催いたしましたところ、たくさんの保護者の皆様にご来園いただき、子ども達の現在(いま)を参観していただくことができました。子ども達の「やりたい!」を実現するため、各クラスともあそび環境の工夫をすることで、子ども達自身がお友達とのかかわりを通して、学び合いをしている姿に着目していただけたことと思います。

9月に入ると年長さんは、小屋浦みまよう保育園のお友達と一緒に広島市青少年野外活動センターで、お泊り保育を実施します。当日はお泊り保育説明会を年長児とその保護者に向けて開催いたしました。

保護者さんの中には、初めてのことなので親子で不安であることを正直に事前質問の用紙に記載されていたケースもありました。また、夜尿の問題、長い髪の洗髪、投薬、気象状況を踏まえ警報時の対策、体調不良によるお迎えなど、初めて親を離れる不安は多くの保護者の皆様の共通のものであったことと思います。

説明会には、保護者の皆様とともに年長さんも参加して、昨年度の映像を見て笑い合い(芝滑りのシーンや豪華な夕食、キャンプファイヤーなど)、準備物のリュックサックから次々に出てくる準備物や衣類釘付けになり、45分の説明を最後まで

聞いていました。自分のことは自分でできる力とそのための努力が必要であることが、子ども達にも届いたようで、説明会終了後、子ども達からは「お泊りの準備自分でやってみる!」「おにぎりつくる!」「長い髪切る!そしてお泊り終わったらまた伸ばす!」。保護者の皆様からは「髪を洗う→拭く→乾かす特訓中です!」「お泊りの準備は親がするのではなく自分のことなのだということが我が子も認識できたようでした。親の方も親だけで準備するのではないことを改めて感じました。」「最近自分でお風呂に入ったり、洗濯物を畳んだりして、プールバックの準備のほか、いろいろなことを積極的にやってくれるのが嬉しいです。」などの声が寄せられました。

基本的な生活習慣の中の身の処置一つとってみても、あそびの発達と同様年長さんになって急に身につくものではありません。乳児の時から愛着を基盤とした大人との関係性を土台に、1歳になる頃にはエプロンやおしぼりを片づける場所が分かり「ないないね。」と声をかけると自分のマークの場所に片づけることができ、保育者と目が合うと得意そうににっこりします。2歳になると夏のプールバックの中から、タオルやパンツを出して準備することにも興味を持ってやる姿がみられます。3歳児は、夏の生活にも慣れ自分のペースではありますが、登園降園の身の処置を担当がいなくても自分で意識してすることができるようになっています。

年中さんや年長さんになって生活の見通しが持たなくて、大人の言葉かけが必要なお子さんは、就学後もその課題を残したまま「小1プロブレム(小学校入学直後、学校の生活になじめず落ち着かない状態が続く)」「中高校生の不登校」「成人してからの精神障害」などに直結することもあります。

子ども達が就学後以降も心と身体を健やかに育み、学びに向かう力を育成するためにも、乳幼児期一人ひとりの発達に合わせ、基本的な生活習慣の(身の処置も含む)自立に向けて、ご家庭と園で応援してあげましょう。(園長)

## 坂みみよう保育園

### 夏まつり会(全児)

夏まつりの行事を2部に分けて開催致します。参加人数制限はありませんのでご家族でご来園ください。

各コーナーで遊んだり、くじ引きをしたり、地域の方に教わった盆踊りを楽しんだりなど、ご家族と一緒に夏のあそびを楽しみます。

事前アンケートで希望の時間帯の調整をしておりますので、決定しましたらお知らせいたします。

来園時には、必ず水筒(お茶)や飲み物など、各自熱中症対策をお願いいたします。

日時: 8月24日(土) 雨天決行

1部 午後4時30分～5時45分

2部 午後6～7時15分

※送迎以外の駐車場の利用は不可です。  
※感染症など体調の悪い場合は参加を控えてください。  
※服装は自由(浴衣、甚平なども可)  
※クラスカラーの参加カードを必ず持参させてください。一部参加予定(赤ひも)二部参予定(青ひも)となっておりますのでご確認ください。  
※坂町内SKY協働センター(かき氷コーナー)地域のお年寄り(盆踊りコーナー)など、地域の皆様との交流も企画しております。  
かき氷は在籍の子ども達は無料です。(さくらんぼ会より)ご家族分は、一杯50円で現金販売もしておりますが先着順となります。  
※都合により参加できない乳幼児は翌週26日(月)に職員と体験する予定です。かき氷はありませんのでご了承ください。

### 広島市の平和を祈念する日

8月6日(日)は、広島市の平和を祈念する日です。(午前8時15分黙とう)

中央階段2F踊り場の本棚に、命、平和、原爆などの関連の絵本を展示していますので手に取ってご覧ください。

この日は坂小学校の教職員の皆様5名が、保育体験をされて、保幼小中連携のスムーズな接続のために、子ども達の育ちや学びについて語り合う予定です。